

国の機関等による向こう5年間の国際会議等の開催計画(令和8年度～12年度)

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	会場での参加人数
1	R8	第20回国際動物繁殖学会 (ICAR2026)	国際動物繁殖学会 (ICAR)	令和8年6月22日～26日	帯広市	動物(家畜、野生動物、伴侶動物等)の繁殖や生殖工学全般を扱う国際会議で、4年毎に世界各地で開催されている。毎回60カ国以上より1000人超が参加する当分野の最大規模の学術集会である。	800名程度
2	R8	Workshop on Nanotube Optics and Nanospectroscopy (WONTON)	理化学研究所、東京都立大学	令和8年7月5日～9日	稚内市	カーボンナノチューブおよび低次元ナノ材料の光学特性・分光に関する国際ワークショップ。研究者の招待講演、一般講演、ポスター発表を通じて議論を行う。	100名程度
3	R8	14th International Symposium on Cold Region Development (第14回国際寒冷地開発シンポジウム)	ISCORD2026 実行委員会	令和8年7月7日～10日	札幌市	積雪寒冷地域における課題と対策に関する情報交換を実施する。	300名程度
4	R8	第25回超高速現象に関する国際会議(UP2026 / International Conference on Ultrafast Phenomena 2026)	UP2026実行委員会	令和8年8月2日～7日	札幌市	超高速現象(ピコ秒～アト秒領域)に関する物理・化学・材料・生物などの研究者が集う国際会議。1976年開始の歴史あるシリーズで、2年ごと開催。最先端のレーザー技術、X線自由電子レーザー、分光法などを扱う学際的フォーラム。	300名程度
5	R8	HOROMAN Mantle Drilling and Carbon Injection WS	国際陸上科学掘削計画(ICDP) HOROMAN DCプロジェクトチーム(代表: 広島大学 片山郁夫教授)、日本地球掘削科学コンソーシアム	令和8年8月25日～28日	様似郡様似町	国際陸上科学掘削計画(ICDP)に予備提案書(Pre-proposal)が採択されたHOROMAN DCプロジェクト(北海道南部の幌満カンラン岩体を掘削し、CO2圧入、モニタリング、各種実験を行うもの)について、各国の研究者が集まり、より詳細な実施計画や科学目的について議論し、完全な提案書(Full proposal)の作成を目指すもの。	60～70名程度
6	R8	INTERPRAEVENT2026 (国際防災学会・インタープリベント)	環太平洋インタープリベント2026実行委員会、環太平洋インタープリベント協議会	令和8年10月20日～23日	札幌市	毎年の学術研究活動等に加え、インタープリベントシンポジウムをヨーロッパと環太平洋地区でそれぞれ交互に定期的に開催して研究成果等を発表。	500名程度

国の機関等による向こう5年間の国際会議等の開催計画(令和8年度～12年度)

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	会場での参加人数
7	R9	Arctic Science Summit Week 2027(ASSW2027)／北極科学サミット週間2027	International Arctic Science Committee (IASC, 国際北極科学委員会)、日本学術会議(共同主催) 海洋研究開発機構、北海道大学、国立極地研究所、極環境研究コンソーシアム(JCAR)、函館市(共催)	令和9年4月11日～20日	函館市	IASCが毎年春に開催する北極研究に関する世界最大の国際会議。IASCの5つの作業部会(大気・雪氷・人間と社会・海洋・陸域)と評議会および関連団体に関する年次会合をまとめて開催。合わせて、隔年で科学シンポジウムもしくは北極観測サミットを実施。	900名程度(オンライン300名程度)
8	R9	第21回日中冬期道路交通ワークショップ	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所、一般社団法人 北海道開発技術センター、東アジア交通学会	令和9年	札幌市	日本と中国における道路構造物や冬期道路交通に関する意見交換を実施。	50名程度
9	R12	第24回世界神経放射線学連盟シンポジウム:SNR (Symposium Neuroradiologicum)XXIV 2030	日本神経放射線学会	令和12年6月or7月	札幌市	4年に1度、“World Federation of Neuroradiological Societies”(世界神経放射線学連盟)に所属する学会により主催される神経放射線領域の国際シンポジウムである。	1,200名程度

※このほか、向こう5年間(令和8～12年度)に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が12件ある。

※1～3は、令和8年7月22日現在において開催済み。

※国が関与する国際会議等(各省庁(外局等を含む)主催の会議のほか、他の省庁・民間団体等との共催や各省庁が所管する特殊法人等・独立行政法人が主催する会議も含む。)で、参加国数は日本を含む2カ国以上、会場参加者数は外国人を含めて10名以上が見込まれる国際会議等について記載。

出典:国土交通省北海道局調べ